



かがやけ！海田南っ子

No.11(臨時号)

令和3年1月21日
海田町立海田南小学校
海田町大立町12番5号

TEL 822-6776 FAX 822-3229

～睦月～
January

URL : <http://www.kaitaminami-e.ed.jp/>

E-mail : kaitaminami-es01@kaitaminami-e.ed.jp

感染症から生まれる差別・偏見をなくしたい

新型コロナウイルス感染症の終束が見えない中、感染症に対する不安や、感染者家族への差別・偏見などが新たな社会問題となっています。そこで今回、南小スタイルの一環として、感染症に関する差別・偏見について考える授業を、学年の実態に応じて実施しましたのでお知らせします。

参考：日本赤十字社監修「新型コロナウイルスがもたらす3つの“感染症”」

児童の感想

- じぶんたちにできることは、手あらいをすること、人のきもちをかんがえることです。びょうきは、なりたくてなっているわけではないので、せめてはいけないとおもいます。(小1児童)
- ことばによってできた、こころのきずは、なおらないことがわかりました。(小1児童)
- 手あらい・しょうどく・マスク・ソーシャルディスタンスをまもって、びょうきにならないように気をつけたいです。(小2児童)
- コロナウィルスかんせんしょうのことを聞いても、ぜったいにうわさを広めたりしないようにします。(小2児童)
- もし病気にかかった友達が元気になって学校にきたら、話しかけたり、ふつうに接したりしたいです。一人一人が心がけて明るくむかえたいです。(小3児童)
- 感染を止めることはできないけれど、感染を防ぐことはできると思った。差別や偏見をもたないようにすることも、ぼくたちにはできると思う。うわさなどを信じて言いふらしたりしないように気を付けたい。(小4児童)
- 感染症対策はこれからもきちんと続けていきたい。周りの友達が感染症にかかってしまったとしても差別などはしないで、これまで通り仲良くしていきたい。(小5児童)
- コロナウィルス感染症は、目に見えない恐ろしい病気だが、あまり不安に思わず、自分でできる感染予防をしっかりとしていきたい。また、うわさ話はしないように気を付けていきたい。(小6児童)

また、今回の授業で子供達が視聴した動画をこちらで公開しています。ぜひ、おうちの方もご覧になり、感染症に関わる社会問題についてご家庭でも話題にしてみてください。

文科省公式



1. 3つの“感染症”とは？

- ① “病気” そのものの感染症
- ② “不安” という気持ちの感染症
- ③ “差別・偏見” という意識の感染症

この3つの感染症が負のスパイラルとしてつながることで、さらなる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっていきます。



2. 負のスパイラルを断ち切るために

① ウイルスの感染を拡げないために…

まずは 手洗い・咳エチケットの徹底，3密を避け，自分自身の感染症予防を徹底して行う。

② 不安にふりまわされないために…

情報源のはっきりしないうわさ話はしない・広げないこと。

③ 差別や偏見をひろげないために…

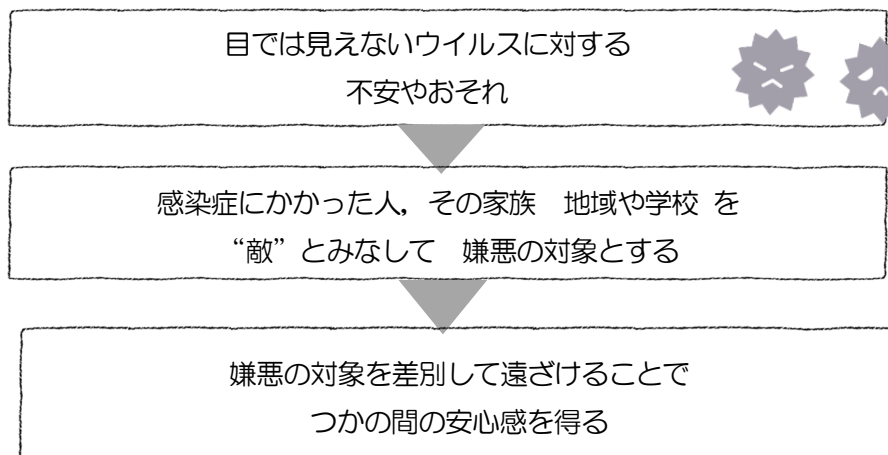
言い出しにくい空気をつくらないこと。



3. 感染症から差別や偏見が生まれる理由



人は目に見えないウイルスに対する不安やおそれを，目に見えるものにすり替えます。感染症にかかった人や，特定の地域・職業の人など，実際に目に見える感染症を連想させる人や場所などを避けたり遠ざけたりする気持ちや行動が「差別や偏見」につながっています。



新型コロナウイルスを含め，感染症は誰でもかかる可能性があります。ただかうべき相手は人ではなくウイルスです。感染症への正しい理解と思いやりの心で不安な気持ちを乗り越えましょう。

ご家庭でもご協力をお願いします。

大人の反応は，子供達の受け止め方にも大きく影響します。子供達が感染症への正しい理解のもとに適切に行動できるよう，ご家庭でも御指導をよろしくお願いいたします。

